

項目	内容
■取組タイトル	宮の森大倉山防災フェスティバル（札幌市中央区）
■団 体 名	宮の森大倉山連合町内会
■対 象 災 害	地震、大規模火災、水害、土砂災害
■取 組 対 象	町内会・自主防災組織、一般
■概 要	第 1 部：発災対応型訓練（グラウンド） ① 避難訓練、②消火訓練（消火器訓練、バケツリレー）、③人命救助訓練（倒壊した建物からの救助）、④水防訓練（土のう作成と積み上げ）、⑤応急処置訓練（AED による心肺蘇生法） 第 2 部：防災アトラクション（体育館） 宮の森小、大倉山小、三角山小、宮の森中の児童生徒による演奏や合唱、円山少年消防クラブによる活動発表。
■目 的	地震、大規模火災、水害、土砂災害に備え、避難、消火、人命救助等の訓練を行うことにより、地域における災害対応力を高める。また、地域住民が一堂に会して訓練を行うことにより、地域のつながり、連帯感を醸成する。
■実 施 内 容	【開催日時・場所】平成 25 年 8 月 25 日（日） 三角山小学校にて 【実施時間】約 3 時間 15 分 【参加人数】第 1 部が約 220 人、第 2 部が約 610 人 【取組内容】 第 1 部「発災対応型防災訓練」では札幌市中心部で大型の地震が発生したことにより、①住宅から火災が発生、②土砂崩れによる住宅の倒壊、③負傷者の発生、④河川が土砂によりせき止められ住宅の浸水危険があるものことを想定した訓練を行った。その他にも、バケツリレーや消火器を使った消火訓練、煙が充満したテントの中を通る煙道通過訓練、人形を倒壊した家屋から助け出す人命救助訓練、どのう作りや砂に埋まった人形を助け出し、人工呼吸や AED を使用した水防訓練などを行った。第 2 部「防災アトラクション」では地域の小学生や中学生による演舞や円山少年消防クラブ（BFC）による規律訓練、ロープ結索訓練の成果を披露した。毎年、地域内の小学校を持ち回りで会場として実施している。平成 23 年度は大倉山小、平成 24 年度は宮の森小で行った。 
■成 果	地域住民が「発災対応型防災訓練」に参加することにより、災害時の対応や備えについて学び、身に付けるができた。また、各小中学校の児童生徒の演奏、少年消防クラブによる訓練成果の発表により、地域住民を対象として、防災意識を高め、住民の交流を促進することができた。
■参考URL	http://miyanomorimachisen.blog111.fc2.com/blog-entry-1094.html （宮の森まちづくりセンターの公式ブログ）

